

平成30年度 算数科授業の略案 (2年A組)

月日 (校時)	単元名	教材名
7月2日 (月) (3校時)	3けたの数	100より大きい数をしらべよう
本時のねらい (本時 9/14) ○何十+何十、何百+何百の加法の計算の仕方を理解し、その計算ができる。		
評価規準 考 何十+何十、何百+何百の加法の計算の仕方を、数の構成に着目して考え、説明している。(ノート・発言・ホワイトボード) 技 何十+何十、何百+何百の加法の計算ができている。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 10:35	・1000は、100がいくつ集まった数かなど1000について学習したことをペアで確認し合う。	・前時の学習のふり返しをする。
問題提示 課題把握 10:38 問いの共有 ・シラバス ・言語わざ 10:42 自力解決 10:47 集団解決 ・ペア学習 10:50 ・全体学習 ・考察 11:10 まとめ 11:13 適用問題	1 問題を知る。 $50+70$ $300+200$ 2 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         何十+何十、何百+何百のたしざんのしかたを考え、せつめいしよう。                     </div> ○50+70の計算の仕方を考えよう。 ・50は10の束が5で、70は10の束が7ですね。だから、5+7で考えたら、分かります。 ・数カードを使ったら簡単に分かります。 《1人でチャレンジ(5分)・ペア学び(3分)・全体学習(20分)・まとめ(3分)・適用問題(5分) 振り返り(2分)》 言語わざ：キーワードを使って説明しよう。 3 50+70の計算の仕方について考える。 ・ノートにやり方を図・言葉・式を使って書く。 4 50+70の計算の仕方について話し合う。 ・50は10の束が5で、70は10の束が7です。だから、5+7=12です。10が12集まった数は120です。 ・数カードを使ったら簡単に分かります。 ○300+200の計算の仕方を50+70の計算のしかたをもとに考えてみましょう。 ・50+70は、10をもとにして考えました。でも300や200は、100が集まった数だから、100が3こと100が2こだから、100のたばで考えると、3+2と考えると簡単だと思います。 5 何十+何十、何百+何百の計算の仕方についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         何十+何十、何百+何百のたしざんのしかたは、何十のたしざんは、10のたばで考えて、何百のたしざんは、100のたばで考える。                     </div> 6 適用問題に取り組む。	10のまとまり 100のまとまり 10のたば 100のたば たばの数 10 100 十のくらい 百のくらい ・折り紙の束を式と同時に提示し、束の数(=10のまとまり)に着目しやすくする。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しがもてる児童に、説明させることによって、見通しが持てない児童の手掛かりとなるようにする。 ・自力解決が進みにくい児童には、近くの児童にヒントをもらってよいことを伝える。 ・早くできた児童には、考えをホワイトボードに書くよう指示する。 考 何十+何十、何百+何百の加法の計算の仕方を、数の構成に着目して考え、説明している。 ・50+70の計算の仕方を手がかりに考えさせる。 ・100や10の束に帰着して考えると、一桁同士の計算で求答できることに着目して、計算できるよう机間指導する。 技 何十+何十、何百+何百の加法の計算ができている。(ノート・発言)
【終末】 ふりかえり 11:18	7 学習したことを振り返る。	